

指定管理者の管理運営に対する評価シート（年度評価）

所管部課	福祉部	福祉総務課
評価対象期間	令和7年4月1日	～ 令和8年3月31日

I 指定管理の概要

施設概要	名 称	龍ヶ崎市総合福祉センター			
	所在地	龍ヶ崎市川原代町5014番地			
	関係条例等	龍ヶ崎市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例 龍ヶ崎市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例施行規則			
	設置目的	高齢者の健康増進や教養の向上など、社会福祉を効果的に促進し、高齢者及び身体障がい者の自立的生活の援助並びに心身機能の向上を図ることを目的とする。			
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
指定管理者	名 称	社会福祉法人 龍ヶ崎市社会福祉協議会			
	所在地	龍ヶ崎市3543番地			
	事業内容	(1) 住民の福祉活動促進（ボランティア育成、交流サロン事業など） (2) 地域福祉協働事業（ふれ愛交流事業、生活支援体制整備事業など） (3) 相談支援事業（ふれあい相談サロン事業、日常生活自立支援事業など） (4) 受託事業（元気サロン松葉館、ふるさとふれあい公園など） (5) 指定事業所部門（障害福祉サービス事業所あざみ・ひまわり園など）			
指定管理業務の内容		(1) 事業に関する業務 ①高齢者の健康増進・介護予防、教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ②入浴サービスに関する業務 ③長寿会連合会の運営補助に関する業務 ④市の敬老会事業に関する業務 (2) 施設運営に関する業務 ①総合福祉センターの使用に関する業務 ②利用者サービスの提供に関する業務 ③広報・宣伝に関する業務 (3) 施設の管理に関する業務 ①建築物及び設備の保守管理に関する業務 ②環境維持管理に関する業務 ③施設保全に関する業務 ④物品管理に関する業務 ⑤危機管理に関する業務 (4) 自主事業 (5) その他の業務			
指 定 期 間		令和6年度～令和10年度（5年間）			
総合評価（年度評価）		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		B	B		

1. 魅力あるイベントを企画するとともに、積極的な広報活動に取り組むこと
既存の実施事業で好評であった事業について、継続して開講・開催した。
SNSや館内デジタルサイネージを活用し、実際の講座や行事の様子が視覚的に伝わりやすいよう工夫した。
2. アンケートの対象者の拡充、実施方法、回収方法等を検討すること
前年度よりもアンケート実施期間は短縮したが、定例的に施設を利用される団体に対し協力の声かけを逐次行うなど注力することにより前年度の回答数を上回る回答を得られた。

2 評価結果

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
I 【有効性】施設の設置目的の達成に関する取組み など	50	-----	36
(I) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	A (R6:A)	24 (R6:24)
① 事業計画書等で示す各種事業やイベントは適切に行われたか。また、当該年度の管理運営目標を達成できたか。			
② 施設の利用者数の増加や利便性を高めるための取組みがなされたか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られたか。			
④ 施設及び備品は適切に維持管理がなされたか。			
⑤ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動がなされたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
① 施設及び設備の運営・維持管理が適切に行われている。また、事業計画書に基づく年間管理運営スケジュール表を作成し、各事業、主催イベント、施設の管理運営状況を毎月市と指定管理者が相互にチェックする体制を設け、共通認識のもと目標達成に向けた取組がなされている。 管理運営目標は、令和7年度の数値目標である利用者数 25,000 人に対して、実績は 38,544 人、昨年度比 4,318 人増という結果となり、当該年度の数値目標は達成できている。前年度より引き続き、堅調な回復傾向が続いている。			
② 利用者アンケート結果を踏まえ導入した健康づくり事業を継続実施した。そのほか、市内団体との協働事業による「ストレッチ講座」や「ポールウォーキング講座」、「スマホ講座」、「パッチワーク講座」を継続して開催し、定例的に行われる活動に参加できる場を提供することで、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりに寄与している。			
③ 障害福祉サービス事業所あざみ・ひまわり園（指定管理者が運営）の通所者が作成した作品やふるさとふれあい公園で作成した縫製作品を総合福祉センターの廊下に「アートギャラリー」として常設展示した。施設内の印象も明るくなり、作品を見に多くの人が来場した。また、長寿会連合会主催イベントや人気の高い太極拳講座は、隣接するふるさとふれあい公園を利用した。その一方、ふるさとふれあい公園内で活動する縫製創作グループの方をパッチワーク講座の講師とする等、地理的利点を活用した施設間の相乗効果が図られている。			
④ 施設、機器の整備、備品は定期的な点検が行われ、市に報告されている。修繕が必要な場合は市と指定管理者が事前に調整し、計画的に実施されている。令和7年度はろ過機ろ過材交換を実施した。			
⑤ 施設の紹介を広報紙（社協だより）やホームページで随時掲載した他、SNS による動画が定期的に配信されている。また、館内のデジタルサイネージにてイベントの様子を放映する等、施設の魅力を高める情報が発信されている。更に、高齢者が多く集まる敬老会において施設案内のチラシを配布し			

た他、近隣の高齢者や長寿会会員を招待した「年忘れ交流会」を開催するなど、高齢者の興味を高める取組がなされている。

(2) 利用者の満足度

- | | | | |
|------------------------------------|----|-------------|---------------|
| ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。 | 20 | B
(R6:B) | 12
(R6:12) |
| ② 利用者の意見を把握し、それを反映させる取組みがなされたか。 | | | |
| ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。 | | | |
| ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。 | | | |
| ⑤ その他利用者満足度を向上させるための具体的な取組みがなされたか。 | | | |

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 個人利用者及びクラブ活動・団体活動利用者を対象としたアンケート調査を実施し、182人（個人利用：65人、団体利用117人）から回答が寄せられている。施設全体の満足度では「満足」「やや満足」の合計が90.1%であり、5段階評価として数値化した全体満足度の数値は4.40となっており、市の要求水準（4.0以上）を満たす高い満足が得られている。
- ② 利用者から寄せられた意見・要望については、適切に市に報告されており、改善できる点については早急に対応されている。また、本年度に実施した主催イベントや講座等は例年のアンケート結果において関心の高い事業が継続されている。
- ③ 利用者同士のトラブル及び施設に関する苦情が生じた場合は、迅速かつ丁寧に対応し、穏便な解決に努めている。また、本年度は、市長への手紙で入浴施設の利用者に関する苦情が1件寄せられ、指定管理者に連絡し対応を求めたところである。
- ④ 機器故障等による施設利用中止の案内は、速やかに指定管理者のホームページ、館内の掲示、デジタルサイネージによる周知に加え、必要に応じて個別に連絡し、高齢者に配慮した対応がなされている。また、イベントについては事前告知に加え、その様子を動画で放映し、利用者の視点に立った周知を実施している。
- ⑤ 利用者の交流の場及び施設を利用するきっかけづくりとして「年忘れ交流会」を12月に開催した。第1部の演芸会（80名）、第2部の芋煮会（330名）の2部構成としたことにより、普段施設を利用したことのない方を含め、多くの来場者を迎えることができ、大変好評であった。また、恒例行事である長寿会連合会による高齢者作品展・つるし雛展（2～3月）は、多くの方が出展作品の鑑賞を楽しみに来館され、一般利用者や近隣の介護事業所からも親しまれている。

評価基準及び評価のポイント

2 【効率性】効率性の向上等に関する取組み

(1) 指定管理業務に係る経費の低減 など

- | | | | |
|---|----|-------------|---------------|
| ① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減させるための取組みがなされたか。 | 20 | B
(R6:B) | 12
(R6:12) |
| ② 収支計画に沿った予算の適切な執行がなされたか。 | | | |
| ③ 清掃や警備、設備の保守点検等の業務は適切な水準で行われたか。
また、再委託している場合は
経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 | | | |

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 居室の配置関係や高齢者が集う施設であることを考慮しながら、支障がない範囲でこまめな消灯や空調の設定温度を管理し、率先して節電に努めている。
- ② 年度協定書に定められた指定管理料に対し、予算の範囲内で計画的に管理運営がなされており、収支に差額が生じた場合には、社会福祉協議会へ交付している補助金から返納されている。
- ③ 清掃や警備、設備の保守点検等は、市から第三者への再委託の許可を受け、市の要求水準どおり適切な管理が行われている。また、再委託の契約は見積合わせの結果を踏まえて契約を締結している。警備業務は、指定管理者が管理する他の施設（ひまわり園・龍ヶ崎市社会福祉協議会佐貫西口支所）と併せて委託することで、経費の縮減が図られている。

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点									
3【適正性】公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	30	-----	18									
(1) 施設の管理運営の実施状況 など	15	B (R6:B)	9 (R6:9)									
① 施設の管理運営に当たる人員は適切に配置され、また適切な雇用・労働環境のための取組みがなされたか。												
② 職員の資質・能力向上のための取組みがなされたか。												
③ 地元貢献（地域経済活性化や地域との連携など）のための取組みがなされたか。												
【評価の理由、要因・原因分析】												
① 事業計画書に基づき、4人（管理者1人・担当者3人）で施設の管理運営に当たっている。人員が適切に配置されており、就業規則に基づいた適切な環境のもとで業務が行われている。												
② 市に準じた人事評価制度が導入され、職員の指導と育成が適切に行われている。												
<table><tr><td>研修名</td><td>実施時期</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>人事評価研修</td><td>9月25日、9月26日、1月14日</td><td>4人</td></tr><tr><td>消防・避難訓練</td><td>3月18日</td><td>職員4人・利用者</td></tr></table>				研修名	実施時期	参加人数	人事評価研修	9月25日、9月26日、1月14日	4人	消防・避難訓練	3月18日	職員4人・利用者
研修名	実施時期	参加人数										
人事評価研修	9月25日、9月26日、1月14日	4人										
消防・避難訓練	3月18日	職員4人・利用者										
③ 長寿会の協力を得た清掃作業（施設周辺の除草やゴミ拾い、花壇・花木の手入れ等）を年3回実施（内1回雨天中止）し、長寿会との連携・協働を図るとともに施設周辺の環境美化に努めた。 また、近隣の社会福祉施設が栽培している花苗を購入し、障がい者の自立支援に貢献している。												

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など	15	B (R6:B)	9 (R6:9)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されていたか。			
② 利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
④ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 登録番号制度による受付方法が定着し、個人情報の保護が図れているとともに、OA 機器を活用したシステム管理による適切な利用者管理がなされ、情報セキュリティにも万全の注意を払っている。
市内の公益法人で構成する個人情報保護審査会を設置し、個人情報保護規定に則した、適切な取扱いがされている。
- ② 様々な方（個人利用者・団体・クラブ）が利用している中、特定の者に偏ることなく、平等な取扱いがされている。また、共通の理解と円滑な管理運営に資する内規を遵守し、適切に運用されている。
- ③ 利用者等の体調急変においては、職員・看護師による迅速な対応を基本とし、救急車による搬送までの対応をマニュアル化する等、高齢者ならではのリスク管理がなされている。また、浴槽の残留塩素濃度の測定（1 日 2 回）や脱衣所の室温調整を行い、入浴時における安全対策を講じている。また、施設内外の照明及び器具類の点検、館内・駐車場の見回りを毎日実施し、事故防止に努めている。
- ④ 非常時連絡体制を整備し、緊急対応マニュアルを事務室内に掲示する等、有事の際には迅速に対応できる体制を整えている。また、不審者への対応として、施設内外に録画機能を有する防犯カメラを設置し、安全管理に努めている。
- ⑤ 令和 7 年度における事故や非常災害等の発生はなかった。
定期的に防災訓練や AED 講習会を実施し、非常時に適切な対応ができる体制整備に努めている。

評価 RANK	得点率	評価 RANK の内容
S	100%	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている。
A	80%	目標（計画）を上回る管理運営がなされている。
B	60%	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている。
C	40%	目標（計画）を下回る管理運営がなされている。
D	20%	目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている。
E	0%	不適切な管理運営がなされている。

【総合評価】

合計得点	66 点 (R6:66)	総合評価	B (R6:B)
------	-----------------	------	-------------

[総評]

本年度の総利用者数は 38,544 人（昨年度比 4,318 人増）となり、目標値である 25,000 人を上回る実績となった。アンケート結果を踏まえた新規事業を実施してきたことや、各種講座を継続して実施することにより、安定的な利用者の確保ができているとともに、広報紙や SNS、動画配信など積極的な広報活動を展開したことで、認知度が上がり利用者増に繋がったものと考ええる。新型コロナウイルス感染症の影響により施設の利用を制限したことで、令和 2 年度以降は一時的に利用者が減少したが、順調に利用者数が回復してきていることから、適切な施設運営が行われているものと評価できる。今後も更なる利用者増、施設稼働率の向上を図るための事業・取組を実施し、将来的にはコロナ禍以前の最高利用者数である 41,129 人を超える利用を達成できるよう更なる努力を期待したい。

市指定管理者選定委員会からの前年度指摘等事項への対応については、広報活動及び高齢者の需要喚起に対応するイベントの創出に注力し、参加者数及び満足度も高かったことから、概ね適切に実施されたと評価できる。

一方で、広く市民ニーズを取集する手法としては、利用者アンケートの設問項目を、より利用者ニーズを把握しやすい内容に変更するなど、一定の工夫は見られるが、アンケート回答者数が増えていないことや、全市民向けのWEBアンケートの実施も検討はしたが実現に至っていないことから、今後の課題として取り組んでもらいたい。

[改善を要する事項]

- ・効果的な広報活動及び利用需要を創出できる事業・取組を展開し、利用者数の増加を図ること。
- ・広く利用者ニーズを把握し施設運営に反映させるよう、アンケートの手法を再検討すること。

総合評価	総合評価の内容	合計得点
S	特に優れていると認められる。	90 点以上
A	優れていると認められる。	70 点以上 90 点未満
B	適正であると認められる。	60 点以上 70 点未満
D	努力を要すると認められる。	50 点以上 60 点未満
E	相当の努力を要すると認められる。	50 点未満

【龍ヶ崎市指定管理者選定委員会の意見】

令和7年度の総利用者数は38,544人と、前年度と比較して4,318人の増となっており施設全体の利用が増加している点は評価できる。一方、近年の利用実績に比べて目標利用者数が低いと考えられるため、新型コロナウイルス感染症以前の利用実績や施設の受入能力等を踏まえ、適切な目標値への見直しを検討いただきたい。また、利用者増加には、湯ったり館の閉館等に伴う入浴利用者の増加という外的要因もあることから、指定管理者の取組による効果を検証できるよう、既存事業と新規事業を区分するとともに事業別に利用実績を分析していただきたい。

管理運営実績データ

施設名	龍ヶ崎市総合福祉センター							
	・高齢者の健康増進・介護予防、教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ・入浴サービスに関する業務 ・長寿会連合会の運営補助に関する業務 ・市が主催する敬老会事業の業務支援 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・イベント等の開催							
事業計画の内容								
運営状況	・開館日数：306 日／開館時間：9：00～17：00／休館日：日曜日、年末年始（12/29～1/3）。 ・職員配置：4 人（施設管理者 1 人（管理職）、担当者 3 人（正職員 2 名、嘱託職員 1 人） 【主なイベント・講座・クラブ等の開催】							
	シルバーリハビリ体操		毎週 月	10～11 時				
	囲碁クラブ		毎週 火・土	9～12 時				
	健康マージャン		毎週 火・木	12～16 時				
	太極拳		毎週 水	13～15 時				
	思い出を語ろうかい		第 2・4 金	10～12 時				
	ストレッチ講座		第 2・4 金	13～14 時				
・その他のイベント：花見会（4 月）、年忘れ交流会（12 月） ・職員研修の参加：人事評価研修（9・1 月）、消防・避難訓練（3 月）								
実績	利用状況	年度	項目	実績	前年度比	備考		
		R3	開館日数	260 日	—	R7 年間利用目標者数 25,000 人 ※ 令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として一部施設の利用制限を行っており、主要な居室（集会室・浴室・教養娯楽室・多目的室など）の開室日数は 260 日。 令和 4～6 年度は上記による休館・利用制限は無し。		
			利用者数	18,184 人	111.4%			
		R4	開館日数	309 日	—			
			利用者数	22,883 人	125.8%			
		R5	開館日数	307 日	—			
			利用者数	28,706 人	122.7%			
		R6	開館日数	308 日	—			
			利用者数	34,226 人	121.9%			
		R7	開館日数	306 日	—			
			利用者数	38,544 人	112.6%			
		利用料（使用料）収入及び減免の状況		年度	項目	実績	前年度比	備考
				R3	使用料	53,100 円	85.1%	・使用料は、60 歳未満の方が利用する場合において徴収する。 （1 日 300 円）
R4	9,900 円			18.6%				
R5	9,000 円			90.9%				
R6	56,100 円			623.3%				
R7	75,300 円			134.2%				
※ 令和 3 年度は、茨城県総合健診協会による地元事業所を対象とした集団検診に使用されたため使用料が増加しているが、令和 4 年度からは条例の改正により徴収の対象から外れたため、大きく減少している。 令和 7 年度は前年度に引き続き 60 歳未満の利用者（延べ 251 人）と増加傾向である。								

・アンケート調査：令和7年10月～11月実施

個人利用者（回答数：65人）

アンケート
の実施
状況

質問事項	回 答					
性別	男性 38人(59%)	女性 27人(42%)				
年齢	60歳未満 1人(2%)	60～64歳 3人(5%)	65～69歳 4人(6%)	70～74歳 22人(34%)	75～79歳 18人(28%)	80歳以上 17人(26%)
市内外の利用	市内 58人 (89%)	市外 7人(11%)				
利用頻度	ほぼ毎日 24人 (37%)	週1～3回 28人 (43%)	月1～3回 6人(9%)	不定期 5人(8%)	はじめて 2人(3%)	
来館の 交通手段	徒歩 0人	自転車 6人(9%)	オートバイ 1人(2%)	バス 2人(3%)	自家用車(自 身で運転) 51人(79%)	自家用車 (送迎) 5人(8%)
	タクシー 0人	その他 0人				
入浴施設の使 いやすさ	とても良い 13人(25%)	良い 20人(38%)	普通 17人(32%)	あまり良く ない 1人(2%)	悪い 2人(4%)	
入浴施設の管 理状況(清掃)	とても良い 10人(19%)	良い 18人(34%)	普通 15人(28%)	あまり良く ない 8人 (15%)	悪い 1人(2%)	無回答 1人(2%)
ヘルストロン の使いやすさ	とても良い 13人(25%)	良い 17人(33%)	普通 18人(35%)	あまり良く ない 2人(4%)	悪い 1人(2%)	無回答 1人(2%)
ヘルストロン の管理状況 (清掃)	とても良い 12人(23%)	良い 14人(27%)	普通 20人(39%)	あまり良く ない 4人(8%)	悪い 0人	無回答 2人(4%)
施設の良い ところ (複数回答)	豊かな自然が感 じられる 29人	スペース が広い 16人	設備が充実 している 5人	色々な目的で 利用できる 11人	気持ちが 落ち着く 25人	気軽に利 用できる 40人
	親しみやが ある 19人	スタッフの 対応が良い 21人	その他 0人			
施設の悪い ところ (複数回答)	草木の管理 が不十分 4人	スペースが 狭い 4人	設備が良く ない 7人	用途が少 ない 7人	居心地が 悪い 7人	利用方法が分 かりづらい 7人
	親しみを感じ られない 2人	スタッフの 対応が悪い 1人	その他 0人			
関心がある もの (複数回答)	健康増進 19人	IT(パソコン・スマホ) 12人	暮らしに役 立つもの 8人	季節感のあ るイベント 8人	シニア向け スポーツ 13人	生活相談 0人
	その他 3人	特にな い 1人				
全体を通して 満足して利用 しているか	満足 30人(46%)	やや満足 29人(45%)	やや不満 3人(5%)	不満 1人(2%)	どちらとも言 えない 2人(3%)	

クラブ活動・団体活動利用者（回答数：130人）

質問事項		回 答						
性別	男性 42 人 (32%)	女性 88 人(68%)						
年齢	60 歳未満 5 人(4%)	60～64 歳 4 人(3%)	65～69 歳 9 人(7%)	70～74 歳 30 人(23%)	75～79 歳 44 人(34%)	80 歳以上 37 人(29%)	無回答 1 人(1%)	
市内外の 利用	市内 119 人 (92%)	市外 11 人(9%)						
利用頻度	ほぼ毎日 2 人(2%)	週 1～3 回 56 人(43%)	月 1～3 回 51 人(39%)	不定期 14 人(11%)	はじめて 7 人 (5%)			
来館の 交通手段	徒歩 3 人(2%)	自転車 12 人(9%)	オートバイ 0 人	バス 5 人(4%)	自家用車(自 身で運転) 93 人(72%)	自家用車(送 迎) 16 人(12%)	タクシー 0 人	
	その他 0 人	無回答 1 人(1%)						
どの部屋を 利用するか	多目的室 61 人 (47%)	集会室 28 人(22%)	会議室 29 人(22%)	教養娯楽室 A 2 人(2%)	教養娯楽室 B 9 人(7%)	その他 1 人(1%)		
施設は利用 しやすいか	とても良い 35 人(27%)	良い 53 人 (41%)	普通 33 人 (25%)	あまり良くない 0 人		悪い 0 人	無回答 9 人(7%)	
清掃は行き 届いている か	とても良い 35 人(27%)	良い 56 人 (43%)	普通 27 人 (21%)	あまり良くない 0 人		悪い 0 人	無回答 12 人 (9%)	
施設の良い ところ (複数回答)	豊かな自然が 感じられる 68 人	スペースが 広い 43 人	設備が充実 している 11 人	色々な目的 で利用でき る 31 人	気持ちが 落ち着く 24 人	気軽に利用できる 59 人		
	親しみやす さがある 29 人	スタッフの 対応が良い 38 人	その他 0 人					
施設の悪い ところ (複数回答)	草木の管理 が不十分 6 人	スペース が狭い 1 人	設備が良 くない 7 人	用途が少 ない 5 人	居心地が 悪い 0 人	利用方法が分かりづらい 8 人		
	親しみを感じ られない 4 人	スタッフの 対応が悪い 5 人	その他 0 人					
関心がある もの (複数回答)	健康増進 47 人	IT (パソ コン・スマ ホ) 17 人	暮らしに 役立つも の 17 人	季節感の あるイベ ント 13 人	シニア向 けスポー ツ 23 人	生活相談 0 人		
	その他 2 人	特にない 0 人						
全体を通して 満足して利用 しているか	満足 65 人 (56%)	やや満足 41 人 (35%)	やや不満 1 人(1%)	不満 0 人	どちらとも言えない 10 人 (9%)			

	決 算			予 算		
	収 入			収 入		
	指定管理料	47,130,000		指定管理料	47,130,000	
	計	47,130,000		計	47,130,000	
	支 出			支 出		
	人件費			人件費		
	職員給料	15,661,000		職員給料	15,661,000	
	職員賞与	4,803,000		職員賞与	4,803,000	
	非常勤職員給与	3,473,000		非常勤職員給与	3,473,000	
	法定福利費	3,102,000		法定福利費	3,102,000	
	事業費	673,297		事業費	714,000	
	消耗器具備品費	98,932		消耗器具備品費	135,000	
	諸謝金	574,365		諸謝金	579,000	
	事務費	18,525,488		事務費	19,377,000	
	福利厚生費	111,600		福利厚生費	112,000	
	事務消耗品費	682,387		事務消耗品費	683,000	
	水道光熱費	3,375,934		水道光熱費	4,010,000	
	燃料費	5,440,957		燃料費	5,441,000	
	修繕費	1,363,236		修繕費	1,370,000	
	通信運搬費	245,396		通信運搬費	271,000	
	業務委託費	6,445,010		業務委託費	6,600,000	
	手数料	84,378		手数料	103,000	
	保険料	226,618		保険料	236,000	
	賃借料	527,372		賃借料	528,000	
	租税公課	22,600		租税公課	23,000	
	計	46,237,785		計	47,130,000	
※収支差額（892,215 円）は、市より龍ヶ崎市社会福祉協議会へ交付している補助金から同額を返納している。						